

研究班番号【37】

日本人は何に美しいと感じるか

国語班：秋岡 実玖 上村 心夏 岡 彩寧

要約

本研究の目的は、日本の美意識の変遷を明らかにすることである。調査によって、日本人の美意識は昔から現代へと徐々に変化しており、また現代でも年齢によって美意識に違いがあることが分かった。従って本研究では、過去から現代にかけて写実的なものから幽玄的なものへと美意識が変化してきたのに対し、現代では幽玄的なものより写実的なものに惹かれる傾向があることから、過去の美意識と現代の美意識は循環しているということが結論付けられた。

Abstract

The purpose of this study is to reveal the transition of Japanese aesthetics. The research shows that the aesthetic sense of modern Japanese people is gradually changing compared to the aesthetic sense of old Japanese people, and that even in modern times, there are differences in aesthetic sense depending on age. Therefore, in this study, it was concluded that the change in aesthetic consciousness from the past to the present and the aesthetic consciousness of modern people are at stake.

1. 序論

現代はグローバル化が進み海外の文化が取り入れられるようになってきている。そんな中、日本の美意識の変遷を調べることで今後日本固有の文化が失われていくことを防げるのではないかと考えた。そこで、日本人は基本的に無常で儂いものに惹かれるという仮説を立てた。その理由としては、仏教の根本思想である無常が、日本古来のアニミズムに組み込まれ、無常のもつ「死生観」と一致し、儂いものに美を感じるようになったと考えたからである。

2. 調査手法

- ① 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集のそれぞれの特徴を調べ、過去の日本人の美意識を調べた。
- ② <<アンケート1>>日本において美しいと思うもの(人物は除く)は何かを調べた。
- ③ <<アンケート2>>対照的な美しさをもつ2つのもののうち、美しいと感じるほうに丸をつけてもらった。

3. 結果

- ① 万葉集：写實的・見たままの美しさ
古今和歌集：婉曲的・観念的・情緒的
新古今和歌集：幽玄的・有心である
- ② 自然に惹かれる人が多かったものの、人工的なものに惹かれている人も一定数いた。



- ③ 年齢が若い人ほど写實的なものを美しいと感じる割合が高かった。
また、年齢が高い人ほど素朴で内面的な美しさをもつものを美しいと感じる割合が高かった。

4. 考察

日本人は無常で儂いものに惹かれるという仮説を立てたが、年齢によって違いがあることが分かった。年齢が高い人ほど「わび・さび」や素朴で余情美のある儂いものが美しいと考えることが分かった。それに対して、若い人はわび・さびなどの情緒があるものよりも写實的な美しさに惹かれる傾向がある。(インスタ映えなど)。また、若い人は西洋の文化に触れる機会が多いので写實的な美しさを受け入れやすいと考えられる。

5. 結論

写實的なものを好む傾向から幽玄的なものを好む傾向へと過去の日本人の美意識は変化した
が、現在の若者は写實的なものに美しさを感じる過去の美意識の流れとは逆の傾向にある。

これらのことから、将来的には再び優美で観念的なものを美しいと感じるひが増える可能性も考えられ、意識は一定方向にのみ変化するのではなく元に還ることもあると考えられる。

6. 参考文献

太鼓日和 - 和太鼓集団 鼓蓮 (2020). 日本の「美意識」や「美の概念」説明できますか？
「あはれ」「侘び寂び」「かわいい」などを紹介. <https://magazine.wadaiko-kohasu.com/traditional/461> 2020年1月18日